

「外来化学療法室に従事する看護師の尿中シクロホスファミド濃度の調査」

へのご協力をお願い

研究機関名 名古屋市立大学大学院医学研究科

名古屋市立大学病院

責任研究者 名古屋市立大学大学院 医学研究科 臨床薬剤学 教授

名古屋市立大学病院 薬剤部

薬剤部長 木村和哲

分担研究者 名古屋市立大学病院 薬剤部

薬剤師 黒田純子

1. 研究の意義と目的

医療現場における抗がん剤曝露の問題は、医療従事者への健康被害をもたらすとして注目されており、特に近年は抗がん剤調製時だけでなくルートの準備の際や投与時における汚染、さらには人体への影響も注目されています。

今回は外来化学療法室の抗がん剤曝露調査の一環として、外来化学療法室に従事している看護師の尿中の抗がん剤濃度を測定し人体への影響の有無を調査致します。なお測定する抗がん剤は、揮発性が高く、またヒトにおいて発がん性が認められているシクロホスファミドを取り上げた。

2. 研究の方法

【対象】

本研究に同意した外来化学療法室に従事している看護師を対象としています。

【研究期間】

平成 29 年 2 月の倫理審査委員会承認後から

【方法】

本研究は、尿中の抗がん剤濃度を測定し人体への影響の有無を調査致します。なお測定する抗がん剤は、揮発性が高く、またヒトにおいて発がん性が認められているシクロホスファミドを取り上げました。

【情報の保護】

調査情報は、名古屋市立大学病院薬剤部内において厳重に取り扱います。個人情報管理者及び個人情報管理補助者を置き、他のコンピュータから独立したコンピュータを使用し、外部記憶装置に記録させ、そのメディアは鍵をかけて厳重に保管いたします。本研究の成果は、個人を特定できない形で関連学会及び学術論文として発表させていただく予定です。

本研究にご質問等ございましたら下記連絡先までお問い合わせください。この場合も診療等、病院サービスにおいて皆様に不利益が生じることは決してございません。

〈問い合わせ先・連絡先〉

名古屋市立大学病院 薬剤部

氏名：黒田純子

TEL：052-851-5511 FAX：052-858-7402